



昭和53年4月22日第3種郵便物認可 日刊 (土・日・祝日休刊)

※無断転載、複写(コピー)、ネット媒体等への入力を禁じます。

令和2年5月27日水曜日 第10128号

目次

◎ 出光興産の三月期、原油価格急落で営業損失三十九億円	二
◎ 三菱ケミ、モスアイ型反射防止フィルム、絵画額装用途に	二
◎ 東レ、有機EL用PIコーティング剤、科学技術賞を受賞	三
◎ 三菱ガス化学など、福島天然ガス発電所の営業運転開始	四
◎ クラレ、新型コロナウイルス感染症と戦う知的財産宣言に参画	四
◎ カセイソーダ、三月の内需は1%減、輸出は大幅減少に	五
◎ 工業会、三月・一―三月期ソーダ工業薬品需給実績(表)	五
◎ 東ソー/組織改正(六月二十五日)	六
◎ 旭化成・人事(六月一日)	六
◎ チツソ及びJNC・人事(六月一日)	六
◎ JXTGグループ・人事③(六月二十五日)	六
◎ ブラジル、二〇一九年十一月主要化学品輸入通関実績(表)	七
◎ ブラジル、二〇一九年十一月主要化学品輸出入バランス(表)	八

☆ スポット・ナフサ、二十一日に三百ドル台を突破

中国経済再開で需要回復、協調減産で油価も上昇

C&Fジャパン・スポットナフサ価格は、上昇基調を強め、今月二十一日には三百四・九ドルを記録。二十二日までの五月平均でも二百五十七ドルと四月平均(百九十四・二ドル)から六十ドル以上の上昇となっている。仮に今後もこの基調が続けば、三Q(七―九月期)の国産ナフサ価格は、二Q(四―六月期)から反転する可能性が高そうだ。ナフサ価格が上昇した要因として、経済活動の再開による景気の回復期待と原油価格の上昇が挙げられる。新型コロナウイルスの感染拡大は未だ収束の目途が立たないものの、欧州各国や米国などでは制限を緩和する動きが強まった。特に、いち早くロックダウンを解いた中国では、自動車生産をはじめ経済活動が急ピッチで回復。中国のPMI(製造業購買担当者景気指数)は、過去最低となった二月の三五・七から三月は五二・〇と大幅に上昇し、節目となる五〇を大きく上回った。ただ、四月は、輸出受注指数が悪化したことで、前月から一・二ポイント低下している。海外ではコロナ禍の影響で混乱が続いており、中国経済が本格的に回復するには輸出環境の改善がカギとなりそうだ。一方、三月に暴落していた原油価格も、四月にOPECプラスが九百七十万BDの協調減産を合意したこととで潮目が変わった。WTIは、五月渡し分で投げ売りが行われたため、四月二十日にマイナス三十七・六三ドルという異常値となったが、その後は不安定な動きながらも上昇を継続。五月に協調減産が開始されたことで、足元では三十三

ドル近辺にまで上昇している。今後、各国での行動規制の緩和により原油需要への期待感が強まり、油価は一段高になるとの見方もある。こうした中、スポット・ナフサ価格も五月に入り強含みの動きとなり、これに連動し国産ナフサ価格も水準が切り上がってきた。試算した国産ナフサ価格は、二十一日に二万六千円台を記録している。二Qの国産価格は、一Q(一―三月期)の四万四千八百円から二万円前後の大幅下落となる見通しだが、仮にコロナ禍の収束に目途が立って来れば、三Qは再び上昇してくる可能性が高そうだ。

☆出光興産の三ヶ月、原油価格急落で営業損失三十九億円
出光興産は二十六日、二〇二〇年三ヶ月の連結決算を発表した。売上高は、前年度比三七%増の六兆四百五十九億円、営業損失三十九億円(同一千八百三十二億円減)、経常損失百四十億円(同一千八百三十一億円減)、純損失二百二十九億円(同一千四百四十四億円)となった。売上高は昭和シェルとの経営統合などにより増収となったが、営業利益は燃料油セグメントでの在庫評価、資源セグメントでの生産量減少や資源価格下落などの影響などにより損失となった。セグメント別では、燃料油セグメントは売上高同四七%増の四兆八千二百十億円、セグメント損失(営業利益+持分法投資損益)は一兆九千九百四十四億円(同一千三百七十三億円減)。OPECプラスの協調減産協議決裂などにより、ドバイ原油は三月に二十ドル前半まで急落し在庫評価損が発生した。また新型コロナウイルス感染拡大の影響で石油製品を中心に需要軟化が三月より顕在化。三月の販売数量の比較では、ガソリンが一〇%減、軽油が一〇%減、JET燃料が五〇%減となった。ベトナム・ニソン製油所では減損処理として三百三十九億円を計上した。基礎化学品セグメントは売上高同二%減の四千五百九十二億円、セグメント利益は同六三%減の百二十九億円。スチレンモノマーなど製品マージンが縮小した。高機能材料セグメントは売上高同一二%増の三千九百三十八億円、セグメント利益同四%減の二百八十四億円。電力・再生可能エネルギーセグメントは売上高同五・六倍の一千二百七十七億円、セグメント損失五億円(同十二億円減)。資源セグメントは売上高同二二%減の二千四百十八億円、セグメント利益同五三%減の四百十八億円だった。通期業績予想では、売上高三六%減の三兆九千億円、営業利益六百億円(同六百三十九億円増)、経常利益三百億円(同四百四十億円増)、純利益五十億円(同二百七十九億円増)を見込んでいる。

☆三菱ケミカルは、モスアイ型反射防止フィルム、絵画額装用途に
三菱ケミカルはこのほど、モスアイ型反射防止フィルム『モスマイト』を絵画額装用途に拡販する、と発表した。同社のアクリル樹脂板『アクリライト』およびモスマイトを取り扱う藤光樹脂が、アクリル樹脂板の両面にモスマイトを貼合した低反射アクリル板を額装向けに販売を開始する。三菱ケミカルが開発したモスマイトは、蛾の眼(モスアイ)が持つ微細な突起構造を模倣した反射防止フィルム。表面には高さ二百ナノメートルの突起が百ナノメートルの間

隔で並んでおり、この突起の幅が可視光線の波長よりも狭いことで、光の屈折率の変化が緩やかになり、光の反射を抑制することができる。一般的なガラスやプラスチックの表面は光の反射率が通常四〇五〇程度あるが、それらの表面にモスマイトを貼付することにより反射率を〇・一〇・三〇にまで抑え、絵画の鑑賞を妨げる表面の反射を防ぐことが可能。同社はこれまで、佐藤美術館（東京都新宿区）が開催する展覧会に協賛し、二〇一七年「吾輩の猫展」、二〇一九年「絵本にみる日本画展」、今年一月の「ビクトリーブルー展」に、モスマイトを両面に貼ったアクリル樹脂板を提供。これらの活動などにより、画家や画商、学芸員から好評を得たことから、今回、藤光樹脂と共同でこの分野への事業展開を強化することとした。三菱ケミカルは引き続き、モスマイトの新たな用途開発・市場開拓を目指し、国内のみならず、グローバルに事業を展開させ、さらなる拡販に努めていく考えだ。

☆東レ、有機EL用PIコーティング剤、科学技術賞を受賞
東レはこのほど、「有機EL絶縁膜用ポリイミド（PI）コーティング剤の開発」について、文部科学省より「令和二年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞開発部門」を受賞した。同社が長年培ってきた感光性ポリイミド技術を深化させ、有機ELディスプレイの発光信頼性と同パネルの生産性を著しく向上したポジ型感光性PIの開発が評価された。有機ELディスプレイは、薄型・軽量・動画面表示に優れ、テレビやスマートフォンなどへの搭載が急拡大している。その部材である有機EL発光層は水分や不純物がガスに極めて敏感で劣化しやすいため、アウトガス発生を極めて少ない長期信頼性に優れる画素分離絶縁層が必要不可欠。また、有機ELディスプレイを大量生産するには、フラットパネル生産工程で同絶縁膜を少量で塗布できるスリットダイコーティング法（ノズルで吐出コーティングする方式で、基板サイズは最大十m程度）が適しているが、従来のPIコーティング剤では塗布ムラなどの外観品位が悪く、この方式は適用できなかった。同社は、化学的に安定で耐熱性に優れるPI材料技術を深化させ、PI前駆体樹脂、感光剤および溶剤から成るPIコーティング剤に、沸点の異なる溶媒を特定比率で組み合わせることにより、高い信頼性と量産性を両立させた有機EL絶縁膜用PIコーティング剤を開発。同開発品は、従来のスピニング法（中央に滴下した塗液を回転させながら全体へ塗り広げる方式で、基板サイズは一般に〇・五m以下）用PIコーティング剤と比べ、十分の一の塗布量で生産することが可能。外観品位に優れたスリットダイコーティング用の感光性PIを世界で初めて商業化したと広く採用されている。今回受賞した技術は、有機ELディスプレイの大量生産と普及拡大に貢献すると同時に、塗布廃液ロスの劇的な削減を実現しており環境調和にも寄与している。また有機ELディスプレイはフレキシブル化が可能で、折り曲げ型の端末、ウェアラブル端末、車載用途など、多彩な曲面デザインの実

現による市場拡大が期待されている。同社は感光性PI技術をさらに深化させ、有機ELディスプレイのさらなる普及と社会の発展に貢献していく考えだ。

☆三菱ガス化学など、福島天然ガス発電所の営業運転を開始
三菱ガス化学はこのほど、同社が9%出資し事業パートナーとして参画している福島ガス発電（FGP）が、相馬港四号埠頭（福島県相馬郡）で建設を進めていた福島天然ガス発電所一号発電設備（一号機）について、先月三十日に営業運転を開始した、と発表した。二〇一六年に、FGPとFGPへ出資する事業パートナー五社（三菱ガス化学、石油資源開発（JAPEX）、三井物産、大阪ガス、北海道電力）は、トーリング方式による相馬港天然ガス発電事業の推進と、その事業基盤となるLNG発電所（出力五十九万kW×二基）の建設を決定。こうした中、一号機が昨年十二月から発電を開始し、電気事業法で定められた使用前自主検査にすべて合格したことから、先月三十日からの営業運転に至った。トーリング方式とは、パートナー各社が各々調達した燃料を、FGPが電気に変えて相当量の電力を各社に返し、各社が独自に販売する、電力自由化に即した方式。同発電所は、低廉で環境負荷の小さい電力の安定供給を目指している。燃料には化石燃料の中で最も温室効果ガス（GHG）や大気汚染の原因物質（SOx、NOxなど）の排出が少ないLNGを気化したガスを使用し、発電効率の高いガスタルビン・コンバインドサイクル方式（燃焼ガスタルビンと排熱蒸気タービンを併用）を採用した。さらに、最新の要素技術を加えることにより、現時点で世界最高クラスとなる約六一%の発電効率を実現している。なお、二号機は今夏の営業運転開始を目指し、現在は試運転中。また、二期工事となる、隣接するJAPEX相馬LNG基地敷地内への二十三万kl級地上式LNGタンクは今夏に営業を開始する予定で、LNG気化設備増設分は先月に営業を開始した。これら設備の操業開始後の運用を含めた管理、事業パートナー五社が持ち込むLNGの貯蔵と気化、気化したガスの同発電所への送出などの業務は、FGPからJAPEXに委託している。同社を含む事業パートナー五社とFGPは、電力全面自由化やGHG排出量削減などの市場環境の変化を踏まえた、低廉で環境負荷の小さい電力の安定供給を目指し、引き続き同事業を推進する考えだ。

☆クラレ、新型コロナ感染症と戦う知的財産宣言に参画
クラレはこのほど、新型コロナウィルス感染症対策の支援のため、「知的財産権に関する新型コロナウィルス対策支援宣言」の趣旨に賛同し、支援者として同宣言に参画した。新型コロナウィルス感染症のまん延をくい止めるためには、産官学が連携し、治療薬やワクチン、医療機器、感染防止製品などの開発・製造を、従来の常識にとらわれない発想とスピードで進める必要があることから、クラレは同宣言の趣旨に賛同。診断や予防、封じ込め、治療をはじめとする新型コロナウィルス感染症のまん延終結を唯一の目的とした行為に対して、同社グループが持つ特許権・実用新案権・意匠権・

2020年3月ソーダ工業薬品需給実績

(単位：t、下欄は前年同月比)

	生産	出荷			輸出	出荷計	在庫
		自家消費	販売	国内需要			
か性ソーダ	338,063	77,249	191,623	268,872	64,219	333,091	157,931
	103.5%	95.4%	100.1%	98.7%	84.9%	95.7%	127.4%
合成塩酸	69,869	25,174	43,535	68,709	0	68,709	19,976
	108.8%	105.2%	114.7%	111.0%	0.0%	111.0%	84.2%
液体塩素	45,744	27,400	18,243	45,642	0	45,642	4,407
	101.1%	97.2%	109.8%	101.8%	0.0%	101.8%	96.6%
高度さらし粉	2,888	0	962	962	2,219	3,181	1,245
	107.6%	0.0%	79.8%	79.8%	134.8%	111.5%	97.3%
次亜塩素酸ナトリウム	73,934	1,842	72,277	74,119	0	74,119	13,555
	96.7%	115.2%	100.8%	101.1%	0.0%	101.1%	91.2%
副生塩酸(2月)	91,581	33,340	58,953	92,293	0	92,293	27,682
	104.1%	117.0%	105.7%	109.5%	0.0%	109.5%	100.1%

2020年1-3月期ソーダ工業薬品需給実績

(単位：t、下欄は前年同期比%)

	生産	出荷			輸出	出荷計	在庫
		自家消費	販売	国内需要			
か性ソーダ	1,050,074	246,561	546,225	792,785	250,724	1,043,509	157,931
	102.9%	95.7%	98.1%	97.4%	106.1%	99.4%	127.4%
合成塩酸	194,078	70,371	123,766	194,137	0	194,137	19,976
	100.9%	96.3%	107.9%	103.4%	0.0%	103.4%	84.2%
液体塩素	128,924	79,723	49,367	129,090	0	129,090	4,407
	99.6%	97.8%	103.3%	99.8%	0.0%	99.8%	96.6%
高度さらし粉	8,460	0	2,407	2,407	6,441	8,848	1,245
	105.3%	0.0%	78.5%	78.5%	117.7%	103.6%	97.3%
次亜塩素酸ナトリウム	205,591	5,823	198,455	207,278	0	204,278	13,555
	100.5%	117.4%	100.6%	101.0%	0.0%	101.0%	91.2%

四出回ル万は用六よ
%荷つプ六同途万る日
増合た用千一別九と本
の計。途t○で千、ソ☆
三で一は、%はt三、カ
十は方需食減、と月ダセ
三同、要品の化、の工イ
万四輸の用二学昨カ業ソ
八%出マは万工年セ会、
千減はイ同二業五イがダ
tの同ナ六千用月ソこの
だ三ース%増、同降ダほ
つ十五が続の七処%十内
た三%のい七理減一需表
(万減て千。廃十月前た一
詳細千六おt・のカはしは
別t万り。全主水四連年ソ%
とな千体力処万続同、
つtとし化用千マ比工輸
た。大て学はtイ一業出
な幅も工同、ナ・薬は
おに前業三紙ス三品大
、減年用二・と%需幅
生少実や%パな減給減
産し績紙増ルつの実少
はたを・のプた二績に
同。下パー用。十

うと宣著
取と言作
りもしたの
組に、。権
で同今利
いく社後行
考ル、使
え、を
だ。一
のコ定期
固口間
有ナ行
技ウわ
術イず、
がル、
感ス対
染感価
症染や
の症補
終の償
息拡を
に大求
貢防め
献止な
でにい
き努こ
るめと
よるを

ブラジルの2019年11月の主要化学品輸入通関実績

(数量 t、US\$1,000)

品 目	11月		累計	品 目	11月		累計
	数量	金額	数 量		数量	金額	数 量
エチレン	2	32	18	酢 酸	12,010	4,570	133,801
プロピレン	34	254	306	酢 酸 ビ ニ ル	3,013	2,044	39,432
ブタジエン	0	0	253	メタクリル酸エステル	414	1,073	4,646
シクロヘキサン	353	364	2,078	A N	0	0	130
ベンゼン	0	1	0	低 密 度 P E	27,239	25,034	291,897
トルエン	84	80	108	高 密 度 P E	23,227	20,452	257,537
パラキシレン	10,023	8,051	211,506	E V A	1,498	2,734	14,305
混合キシレン	0	0	332	P P	37,160	48,049	362,139
S M	1,861	1,556	162,345	P S (F S)	2,685	3,453	36,206
E D C	25,008	6,652	244,620	P S (G P ・ H I)	2,241	3,229	23,729
V C M	—	—	5	A S	528	974	9,650
メタノール(kℓ)	98,836	25,667	1,116,297	A B S	6,237	10,436	70,393
ブタノール	1,751	1,499	15,434	P V C	29,749	27,895	373,888
オクタノール	527	756	12,933	P O M	1,458	2,238	19,096
E G	9,245	4,729	98,807	ポリカーボネート	2,421	5,551	35,176
P G	1,066	1,101	14,310	ポ リ ア ミ ド	3,772	10,680	55,890
フェノール	247	265	1,795	S B R	6,066	10,764	85,649
ビスフェノールA	178	226	2,538	B R	4,671	8,091	58,489
アセトン	2,985	1,315	22,765	I I R	184	349	2,295
M E K	97	114	1,626	ソ ー ダ 灰	83,685	18,419	1,286,839

ブラジルの2019年11月の主要化学品輸出入バランス

(▲は入超、数量 t)

品 目	輸 出	輸 入	バランス	品 目	輸 出	輸 入	バランス
エチレン	9,772	2	9,770	A N	2,311	0	2,311
プロピレン	—	34	▲ 34	L D P E	39,452	27,239	12,213
ブタジエン	21,832	0	21,832	H D P E	27,863	23,227	4,636
シクロヘキサン	0	353	▲ 353	E V A	2,654	1,498	1,156
ベンゼン	5,879	0	5,879	P P	38,842	37,160	1,682
トルエン	6,108	84	6,024	P S (F S)	112	2,685	▲ 2,573
パラキシレン	—	10,023	▲ 10,023	P S (G P ・ H I)	3,253	2,241	1,012
S M	30	1,861	▲ 1,831	A S	—	528	▲ 528
V C M	—	—	—	A B S	8	6,237	▲ 6,229
オクタノール	139	527	▲ 388	P V C	1,399	29,749	▲ 28,350
E G	9	9,245	▲ 9,236	ポリカーボネート	26	2,421	▲ 2,395
アセトン	407	2,985	▲ 2,578	S B R	2,656	6,066	▲ 3,410
酢酸	—	12,010	▲ 12,010	B R	272	4,671	▲ 4,399